

## 7-3 DX推進特別本部

### 1. DX推進特別本部の概要

#### (1) 経緯

令和3年7月「生産性向上推進特別本部」を発展的に改組、DXへの取り組み検討の推進組織とした。

#### (2) 目的

a) 建設コンサルタントとして、建設事業におけるDX推進について検討し、受発注者協働による働き方改革や、建設事業の生産性向上、今後の街・地域づくり、会員企業の生産性向上に貢献する。

b) 活動成果を開示・共有することにより、建設コンサルタントのプレゼンスの向上と会員企業全体のDX推進の底上げを図る。

#### (3) テーマ

テーマ1: 受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

テーマ2: i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進（ライフサイクルマネジメントの生産性向上）

テーマ3: 街・地域づくりのDX推進（エリアマネジメントに資するDX）

テーマ4: 建設コンサルタント企業のDX推進

### 2. 主な活動の記録

#### (1) 受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

- ・ 入札・契約段階、業務遂行段階、納品段階の電子化により効率化を図る「あるべき姿」を検討
- ・ 入札・契約段階、納品段階での作業・書類の完全電子化に向けて、電子入札システム、電子契約システムの機能追加、機能改善、運用改善を提案
- ・ 業務遂行段階における業務遂行段階における電子活用に向けて、ASPの活用促進策として特記仕様書へのASP活用の明記、ASPの活用する機能、格納データ書式などの運用ルールを設定を提案
- ・ 上記提案を本省技術調査課へ報告し、今後の国交省の取り組みへの活用を要望した。

#### (2) i-Construction およびBIM/CIMの推進

・ プロセス間でデジタル情報のサプライチェーンの構築を図る「あるべき姿」を検討

・ デジタル情報のサプライチェーンの構築として、調査・設計・積算・工事・維持管理において、データ連携が適切にできる3Dソフトの開発目標の明確化、3Dモデルの照査機能の開発、データプラットフォームのデータを活用するためのインターフェース(API)の開発のあり方の検討の必要性を提案

・ デジタル情報のサプライチェーンの運用として、BIM/CIMモデルを管理・継承するマネジメント体制・役割(CIMマネージャー)の検討の必要性を提案

・ 国土交通省BIM/CIM推進委員会、東京大学工学研究科 i-Construction システム学寄付講座協同領域検討会への参画による検討の推進

#### (3) 街・地域づくりのDX推進

・ スマートシティ等の取り組みを参考に、防災、観光、物流、エネルギー等の街・地域づくり関連分野におけるDX推進やデータ利活用のあるべき姿を検討

・ 「あるべき姿」として、コンサル主導による生活圈等のエリアマネジメントの実践を提案、効果的なDX推進に向けて各種の仕組みづくりの重要性を検討

#### (4) 建設コンサルタント企業のDX推進

・ 会員企業全体のDX推進の底上げを図る「あるべき姿」を検討

・ 協会本部におけるDX推進として、会員企業の経営に役立つ情報の提供、協会本部及び会員企業間、委員会活動における情報交換の仕組みの構築を検討

・ 会員企業間の連携の仕組みの構築を検討

### 2. 次年度の活動

・ テーマ1、テーマ2について、地方ブロック意見交換会「要望と提案」に反映するとともに、国土交通省本省との協議を推進する。

・ テーマ3について、「要望と提案」の具体的な内容（仕組みづくり等）を検討する。

・ テーマ4について、会員企業全体のDX推進に資する情報提供、協会本部におけるDX推進の具体化を推進する。

(DX推進特別本部本部長 野崎 秀則)